

1人暮らし高齢者お茶とお話しの会

大倉山地区 細野 美知子

大倉山地区民児協は、春と秋の年2回「1人暮らし高齢者お茶とお話しの会」を大綱中コミュニティハウスにて開催しています。

コロナ禍で4回中止しましたが、令和5年には60回を迎えました。1人暮らしの高齢者は、年々増加し民生委員の仕事のうちで見守り、相談が大きなウエイトを占めています。外出するきっかけ、人との会話など楽しめる行事があったらとの思いから始まりました。

スタート時はお茶とお菓子を用意し会話を楽しんでもらいました。回を重ねるごとにギターの伴奏で合唱したり、演芸を見るなどとても賑やかな会になっていきました。

長いコロナ期間が明け、再開することとなりましたが、マスクの着用、お話しは控えめなどの制約が多く楽しめる状況ではありませんでした。最近では参加者の減少があり、内容のマンネリ化など課題も出てきました。よりよく楽しくと考える時期かもしれません。

長く続いてきた会を、次へつなぐ為にはスタッフ一同、アイデアを出し合い努力していく事が必要だと思います。



新しい地域の居場所

城郷地区 染矢 徹

城郷地区の名前の由来は、小机城址があることから、かつて近隣は城郷村と呼ばれたそうです。昨年4月14日には恒例の小机城址まつりがあり、地域の民生委員・児童委員もまつりに参加しPR活動などを行いました。

さて、そんな城郷地区に昨年1月に新しい地域の居場所として「町カフェ城郷ノスタルジア」(以下、町カフェ)が完成しました。完成直前には、地区の主任児童委員や民生委員・児童委員が建物内部を見学しました。建物内は、1階がボランティアの方によるカフェとイベントやチラシの掲示場所、2階が地域の交流スペースになっています。

民生委員・児童委員としては、高齢者の方々が年齢とともに気の合う友人が亡くなるなど、交流の機会が減少していくことを危惧しております。

そんな中、今年のひとり暮らし高齢者の訪問活動において地域でのスマホ教室への参加の要望があり、町カフェでのスマホ教室開催を知り、チラシを持ってご案内しました。これからも、民生委員・児童委員の活動の中で、新しい地域の居場所として町カフェを活用していきたいと思っています。



主任児童委員より

子どもたちが安心できる地域を作るために

菊名地区主任児童委員 高橋 真由美



「主任児童委員」をご存じですか?民生委員(民生委員・児童委員)をご存じの方は多いと思います。主任児童委員は18歳までの子どもを対象に児童福祉関係機関や地域の学校等と連携し、民生委員と協力して活動を行っています。また「子育てサロン」を開催し、地域の親子が交流できる場を提供しています。

主任児童委員は活動に役立つ講演会の受講や施設の見学を行っています。最近(令和7年2月現在)では横浜市立盲特別支援学校と横浜少年鑑別所の見学会がありました。1月には横浜市民主任児童委員研修「万人の犯罪者分析から学ぶ攻める防犯という考え方」の講演会がありました。「攻める防犯」とは、犯罪をしようと考えている人に実行させないようにする、人を犯罪者化させない、犯罪者を作らないというものです。そのためにはどうしたらよいのか?誰にでもできる簡単な防犯対策は「挨拶」。人は悪い事をしようとする時に声をかけられると「自分は他人から認識されている」「孤独ではない」と感じて犯罪を踏みとどまるそうです。皆様の参考になれば幸いです。

広報の役割は、皆さんに地域の民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を知っていただくことです。編集委員としての担当も今回で終わりになります。楽しく、時には真剣に語り合い作り上げてきました。良い仲間と過ごした3年間は大切な時間になりました。

取材や原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

編集委員(◎委員長 ◇顧問)

◎ 横溝 まさみ(樽地区)、◇ 小泉 三千代(綱島東地区)、小嶋 由美子(箕輪地区)、上村 正代(綱島西地区)、多田 道代(大曽根地区)、久野 美和子(篠原北地区)、新名 万里子(大倉山地区)、近藤 光江(新吉田地区)、麻生 新(主任児童委員・新吉田地区)

港北区民生委員児童委員協議会広報紙



ほほえみ

第34号

発行 横浜市港北区 民生委員協議会
児童委員協議会
横浜市港北区大豆戸町 26-1
電話 045(540)2339
FAX 045(540)2368
発行責任者 会長 山科 礼子

こんにちは民生委員・児童委員です
小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役」

子どもの事で

赤ちゃん会や子育てサロンなどにかかわっています。また子育てで不安や、いじめ、登校拒否、児童虐待など気軽にご相談ください。



© 横浜市港北区ミズキ

障害のある方へ

お困りのこと、援助を必要とすることはありますか。地域の支援を行政と連携して行っています。

高齢者の方へ

ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方、介護保険サービスを受けたいと考えている方、心配事や相談事、なんでも結構です。気軽にご相談ください。

生活に困った時

困窮の実情に応じ、生活福祉資金などの公的貸付制度や生活保護についてご案内します。



民生委員・児童委員は
守秘義務が課せられています。
プライバシーは守ります。



民生委員・児童委員は相談に応じ、
地域の関係機関等とのつなぎ役になります。
わたしたちに気軽に声をかけてください。

その他

母子福祉や配偶者からの暴力(DV)など、困ったことがあれば、深刻な状況になる前にまずご連絡ください。

民生委員・児童委員について

民生委員・児童委員は、住民の皆様と関係機関のつなぎ役としてまちの福祉のために活動しています。港北区役所福祉保健課運営企画係で地域の民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介しています。ご相談の内容によっては、他の専門機関を紹介します。

地区からの紹介

※令和7年2月に寄稿
いただいた内容と
なっております。

シャボン玉とんだ!

日吉宮前地区 塚田 真

毎年日吉宮前地区では、ケア委員会子育て班の企画で地域の子ども向けイベントを開催しています。去年は移動動物園を行いました。今年は二子玉川で活動されているシャボン玉オヤジさんと、パフォーマーのルムさんをお招きして、鏡が淵公園いっぱいシャボン玉をとばしてもらいました。

当日は11月の少し肌寒い季節にも関わらず晴れ渡る青空で、乳幼児から小学生まで沢山の親子がシャボン玉を追いかけたり、自分の吹き具を作ってシャボン玉をとばしたりと可愛い姿を見せてくれました。お散歩がてら公園に立ち寄った高齢者の方々も喜んでくださり、参加された皆さんから素敵

な笑顔や感謝の言葉をたくさん頂きました。関わったスタッフ皆も反響が大きかったので達成感がありました。

イベントの準備は少々大変ではありますが、コロナ禍で人が集まることを制限された日々を思い出すと、やはりこうして沢山の方が集まって顔が見えるイベントの大切さを実感しました。今後も地域に住んでいる人が楽しんで参加できるイベントを企画して横のつながりを広げて行きたいと思います。



幸齢者の集い

日吉本町東地区 上田 さと

日吉本町東地区では年に2回、春と秋に「幸齢者の集い」を開催しています。75歳以上のお一人暮らし、そして御夫婦世帯にも範囲を広げてお声かけし、昨年も11月に60名ほどの方が日吉地区センターにお集まり下さいました。



1部では薬剤師さんのお話を伺いました。高齢になると薬が必要になる方が多く、服用上の注意点について皆さん熱心に聞き入っていました。又、もし避難の際には「お薬手帳」が必携とのこと。

2部では地元で活動している「男闘呼組」のバンドの演奏に合わせて懐かしい歌の数々を共に歌い、楽しい会はお開きとなりました。

体操、踊りの会、マジック、ある時は詐欺から身を守る方法についての話など、楽しくてためになる内容で会が開かれています。

民生児童委員2期目の私ですが、1期目はコロナ禍で諸々の制約を受けながらの活動でした。今こうして普通に過ごせること、人と人が触れ合うことの大切さを強く感じます。

これからもお一人お一人の心に寄り添いながら、そして心のアンテナをしっかりと張りながら活動させて頂きたいと思っています。

後半は下田のコーラスグループ「プティット・フルール」10名の素敵な歌声、「東京物語」という戦後の歌のメドレーにみんな当時に思いを馳せ、時には口ずさみ、最後に「青い山脈」をみんなで歌いとてもいい時が流れていました。

これからも二つの会に参加される方々が更に『ワクワクと楽しく!交流できる場』にしていきたいと思います。



いきいきとお達者かい

日吉本町西地区 鈴木 房代

日吉本町西地区では令和4年12月に地区としての活動が始まりました。高齢者を対象に月に一度、転倒・骨折・認知症予防教室『いきいきの会』と春と秋の『お達者かいのつどい』を開催しています。『お達者かいのつどい』では津軽三味線体操、カントリーの演奏などのさまざまな企画で皆さんに楽しんで頂き、回を重ねてきました。

昨年秋の「お達者かい」には50余名の方にお集まりいただき、日吉本町地域ケアプラザの方の「物忘れ!気になりませんか?」の認知症に関する講演で日常の注意点を聞き、予防のための体操などで体を動かしました。

協力しあって…

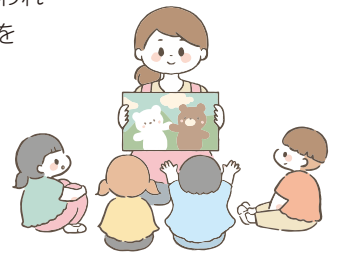
綱島西地区 垣中 佳子

綱島西地区では、ボランティア活動の1つとして、地域にある北綱島特別支援学校(小学生から高校生まで多くの児童生徒が通学する肢体不自由特別支援学校)での「読み聞かせ」を長い間行っています。人数は少ないですが、民生委員、主任児童委員、元民生委員などでずっと続けてきました。

コロナが明けて4年ぶりに再開できることになり、メンバーに声かけしましたが、様々な事情により、2人しか集まりません。そこで、支援学校の隣にある北綱島小学校で読み聞かせ

等をしている図書ボランティアの方々に相談したところ、快く協力して下さいになりました。月に1度位の活動ですが、読み聞かせに入れるクラスが多くなり、「子どもたちがとても楽しみにしています」と先生方も喜んで下さっています。

民生委員児童委員だけに限らず、担い手不足は頭を悩ます問題です。肩書きにとらわれず、自分のできることをできる範囲で、いろんな方々とも協力しながら、細く長く続けていけたらと思っています。



いつも寄り添っています

新横浜地区 羽場 和代

新横浜にお住まいの子育て世代の多くが親元を離れ育児をされています。その方たちの心の拠り所のひとつになればとの思いで、新横浜地区民児協では毎月第4火曜日に自治会館にて子育てサロン「かもねくらぶ」を開催しています。0歳から未就園児とその保護者を対象としていますが、最近は早くに社会復帰をされる保護者が多いからか0歳1歳児の参加がほとんどです。サロンではおもちゃや絵本を出して自由に遊

んでもらい、楽しくおしゃべりをしたり、情報交換をしたり、ゆったりと過ごしていただいています。お子さんの誕生月には手形と写真をご希望の方へプレゼントしています。スタンプのインクの感触にびっくりしたり、手をパーにするのをイヤイヤしたり泣き出したり…。ご機嫌を見ながら我々スタッフも素敵なプレゼントをお渡しできるよう毎回奮闘しています。

夏にはビニールプールを出して水遊び。自宅では無理だからと大変好評です。これからも、サロンを通じ、顔見知りが増え、新横浜に住んでいて良かったと思っていただけよう、寄り添う活動を続けて参ります。



寄り添うことは学ぶこと

樽地区 ジリリ さおり

私が民生委員としてスタートしてから1年が経ちました。興味深い様々な講座や研修で学ばせて頂き、先輩方の活動方法をお聞きしながら活動しています。

その中で、尊敬する先輩方に頂いたある言葉を、常に意識するようになりました。

「担当する高齢者の方々のお話を、興味をもって聞くこと」
新人の私は、担当の皆さんとの信頼関係を作ることを第一としています。そのためにもご自宅を訪問する際、先輩からいただいた言葉を意識してお話を聞くようにしています。その中でも、これまでの人生を力強くお話されるお姿がきらきらと輝いていて、まだまだ人生初心者の私は、沢山の生きるヒントを頂いています。

これからも皆さんのお話を沢山お聞きしながら、私自身も学ばせて頂きたいと思っています。

皆さんと心が繋がり、信頼関係が出来、ご希望の生き方をお聞きしながら専門のサポートへと繋げたり、コミュニティーへ橋渡しをしていけたらと思います。

